

横手清陵 最優秀賞

2年連続

横手清陵高校（横手市）の総合技術科3年生が製作した丸森橋（高城
県丸森町）の模様が、東北6県の高校生を対象とした2023年度の高
校生橋梁模型作品発表会で最優秀賞に輝いた。実際に行われた再塗装工
事を踏まえ、塗り替え後の色鮮やかな状態と、塗り替え前のさびた状態
を左右で分けて再現したアイデアが高く評価された。

東北6県・高校生橋梁模型作品発表会

日本橋梁建設協会東北
事務所（仙台市）などで

つくる実行委員会的主
催。模型を製作する橋



梁部門には14校から計
19点の応募があり、2月
15日に同市で発表会と
審査が行われた。横手清
陵高の最優秀賞受賞は2
年連続3回目だが、スト
ラクチュアル（構造）、
ビジュアル（外観）、ア
イデアという審査項目別
の大賞も全て受賞したの
は初めて。

作品を手がけたのは川
越天磨さん、菊池悠貴さ
ん、高橋沙羅さん、高橋
柚月さんの4人。阿武隈
川に架かる全長約133
㍎の丸森橋を、78分の1
の縮尺で長さ約150

さび促進剤などを使
い、再塗装前の丸森橋
を表現した

塗装の表現に高い評価

々、高さ48㍎の模様に仕
上げた。

22年度はアイデア大賞
を逃したことから、今回
は審査員をならせる発
想で臨んだ4人。まずは
1929年完工と歴史
あるトラス橋の丸森橋に
着目し、2023年春に
現地調査した。数年前に
再塗装工事が行われたこ
とを知り、塗装完了部分
と未作業でさびついた部
分に分かれた工事途中の
状況を再現する、という
ユニークなアイデアに行
き着いた。

構造設計を経て9月に
製作開始。橋の構造上、
パーツが多いのに加え、
さびの表現が難点だっ
た。青の塗料を塗り重
ねた木材に鉄粉とさび
促進剤を付けて実際にさ
びを生じさせ、リアル
に仕上げた。

リーダーの川越さんは
「丸森橋の完成までには、
暴露川と騒ぐ住民の粘り
強い取り組みがあったこ
とを知った。それに負け
ないよう、妥協せずに行
き上げた」と話した。

横手清陵高は今回、バ

ソフン画面上で橋の模型
を揃えデジタル館にも
出品。小松田我玖さん、
齋藤大馳さん、森田薫さ
ん、森岡朋司さんの4人
が3次元CAD（コンピ
ュター利用設計）システ
ムを駆使し、小出橋岩
手県遠野市を仕上げた。
唯一の出品となり、デジ
タル大賞を受賞。リーダ
ーの小松田さんは、手分
けしパーツごとに作っ
た。組み合わせると一つ
の橋になった達成感は大き
かったと話した。

（菅原潤）



丸森橋の模型（奥）を製作した横手清陵高生